

令和4年度 ゆめ講座

# エッセイにチャレンジ講座

## 「思い出をカタチにする」

\* ゆめ講座とは、区民の皆様からの企画を公募し、社会教育会館が実施協力する講座です。

あなたの記憶をエッセイにして残してみませんか。  
原稿用紙に改めて書くのはハードルが高いという方は、友人にメールやLINEを送る感じで気軽に書いてみましょう。  
初めてエッセイにチャレンジする初心者向けの講座です。

日時：令和5年1月21日（土）13:00～15:00

対象：中央区在住・在勤・在学の15歳以上

場所：月島社会教育会館 5F 講習室

持ち物：筆記用具

受講料：無料

定員：10名（申し込み多数の場合は抽選）

申し込み締め切り：12月26日（月）

主催・申込み先：中央区立月島社会教育会館

\* 申込詳細については裏面をご確認ください

### < 講座の流れ >

あらかじめ書きたいテーマ（内容）を考えてご参加をお願いします。  
テーマから①～④の内容に絞り込んで、当日は自己紹介を兼ねて3分間スピーチとして語ってまいります。話す事が書くことへの第一歩です。  
時間内（約30分）に執筆して完成を目指します(文字数は自由)

### ※テーマ

- ①子供の頃や家族の思い出
- ②嬉しい恋や悲しい別れ
- ③不思議なお話や変わった体験
- ④その他



講師：徳田圭子  
(コピーライター)



私の生徒第一号は、奈良に住む認知症で寝たきりの母でした。帰るたびにベッド横でいろんな話を聞くのが日課。何度も同じ話を繰り返すのですが、その中にきらりと光るエピソードがありました。90歳で亡くなる前の3年余り、夢中になってエッセイを書くことで、認知症からも回復。

父の思い出を書いた「戒重堂」が恋文大賞、ラジオから流れた話をヒントにした「半夏生」が言の葉大賞に入選しました。

母は人生の終盤になって、神様から最高に幸せな時間をプレゼントされました。書くことが生きる力になって、寝たきりの病気の辛さも浮き世の苦しみも忘れて、夢中になって言葉の海に自力で漕ぎだしていったのです。



寝たきりの状態でエッセイを書いていた母

# 「エッセイにチャレンジ講座」

～思い出をカタチにする～

## 参加・お申し込みについて

- 電話、FAX、窓口にてお申し込みください。

築地／日本橋社会教育会館、アートはるみでもお申し込みいただけます。

- 2022年12月26日(月) 締め切りです。以降のお申し込みは月島社会教育会館にお問い合わせください。

- 応募多数の場合は抽選です。

- 応募者全員に当落はがきをお送りいたします。

※1月4日(水)を過ぎてはがきが到着しない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

- 参加の際はご自宅で検温の上、会場ではマスクまたはフェイスシールドの着用をお願いいたします。

## 会場・お問い合わせ先

〒104-0052

中央区月島 4-1-1 月島区民センター4F

中央区立月島社会教育会館

電話：03-3531-6367

FAX：03-3531-6369

<https://chuo-shakyo.shoppro.co.jp>



※できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

## 月島社会教育会館宛

### 「エッセイにチャレンジ講座」

～思い出をカタチにする～

FAX:03-3531-6369

氏名	(ふりがな)
住所	〒  ※中央区外に在住の方はいずれかに☑をお願いします→□中央区在勤 □中央区在学
電話番号	
テーマ	当日の書きたいテーマを下記よりお選びください。(○印をお付けください) ①子供の頃や家族の思い出 ②嬉しい恋や悲しい別れ ③不思議なお話や変わった体験 ④その他 ( )

#### 個人情報の取り扱いについて

講座お申込時に収集した個人情報について、個人情報の漏えい・流出・不正利用がないよう適正な管理を行い、当館(中央区立社会教育会館)が主催する事業以外には使用しません。また当館が主催する講座や催し物等のご案内をお送りする場合があります。不要な方はお申し出ください。